

ぐんまの農業について

令和８年10月

農林水産省 関東農政局 群馬県拠点

目次

01 はじめに

⑴ 群馬県の地理と気候 …… 1

02 群馬県の農林水産業

⑴ 主な話題 …… 2,3
⑵ 耕地面積 …… 4
⑶ 各地域における農産物 …… 5,6

03 データ分析

⑴ データで見る群馬県の農林水産業 …… 7,8
⑵ データで見る群馬県の林業 …… 9
⑶ データで見る群馬県の漁業 …… 10
⑷ 群馬県の荒廃農地面積の推移 …… 11
⑸ 群馬県の農業産出額と主な農産物 …… 12
⑹ 群馬県の主要品目の収穫量等 …… 13,14
⑺ 群馬県の畜産動向 …… 15,16
⑻ 群馬県の農家数の推移 …… 17

目次

⑼ 群馬県の新規就農者数 …… 18
⑽ 群馬県の新規女性就農者の推移 …… 19
⑾ 群馬県の外国人労働者の推移 …… 20
⑿ 特定技能人材による産地間人財リレーの取組事例 …… 21
⒀ 群馬県の野生鳥獣被害の状況 …… 22
⒁ 群馬県の地域別被害額及び面積 …… 23
⒂ 群馬県の六次産業化の状況 …… 24
⒃ 群馬県のGI登録品 …… 25

問い合わせ先 …… 26

01 ⑴ 群馬県の地理と気候

■ 位置・面積・地勢

群馬県は日本列島のほぼ中央に位置する内陸県です。県の西部・北部の県境には山々が連なり、南東部には関東平野が広がっています。面積は約6,362平方kmで、全国では21番目、関東地方では栃木県に次いで2番目の広さを誇ります。
また、県土の約6割が森林に覆われています。県内には2,000m級の山々や尾瀬の湿原をはじめ、多くの湖沼や吾妻峡などの渓谷、利根川の清流などがあり、変化に富んだ美しい自然に恵まれています。

市町村（12市、15町、8村）
県人口：186.8万人
県面積：6,362㎢

※令和7年10月1日現在



■ 気候

南部に平坦地が広がり、西部や北部に山地が多い群馬県では、地域によって気候が異なります。平野部は、太平洋型の気候に加え、内陸であるため、夏はとても暑くなります。強い日差しで温められた空気が山を上がって雷雲となるため、雷が多いことも特徴的です。冬には「からっ風」という冷たく乾燥した強い季節風が吹きます。

■ 特産物

群馬県では、恵まれた自然条件や立地条件を活かし、年間を通して多彩な野菜生産が行われており、全国でも上位の野菜生産県として首都圏への重要な野菜供給産地となっています。山間部では、夏でも冷涼な気候を生かして、夏秋キャベツの栽培が盛んです。

02 (1) 主な話題



「群馬県みどりの食料システム基本計画」の推進

みどりの食料システム戦略の実現に向けて、令和4年7月に施行された「環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律（令和4年法律第37号）」に基づき、令和5年3月に群馬県と県内35市町村とが共同で「群馬県みどりの食料システム基本計画」を策定した。有機農業を含めた環境保全型農業や温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の推進により、農業者の安定的な経営の実現や更なる経営発展が図られるとともに、環境負荷の少ない方式で生産された有機農畜産物等の販路拡大や消費者理解を促進することで、本県農業を環境と調和しながら持続的に発展させることを目指している。

▶ 計画の推進方向

- 温室効果ガス排出量削減に資する取組推進
- 環境負荷低減が期待できる新技術や革新的な技術等の導入促進
- 土づくりと化学肥料・化学合成農薬低減に資する取組推進
- 持続可能な食と農の地域循環システムの実現

甘楽町

（令和5年10月20日オーガニックビレッジ宣言）

令和5年度に「甘楽町オーガニック推進協議会」を設立し、令和6年度から今後5年間は、「未来へつなぐ有機農業」を目指して、子どもたちへの食育をはじめ、日々のくらしに溶け込む有機農業を推進し、次代への継承と有機農業のさらなる産地づくりに向けて取り組んでいる。

高山村

（令和6年2月23日オーガニックビレッジ宣言）

5年後に目指す目標として、自然環境と調和した持続可能な農業をより一層発展させていくことを目標に、有機農業に力を入れ、農地の持つ多面的機能の保全を進める。また、大規模な慣行栽培を行う農業者の有機農業への移行や新規就農者支援の充実を図る。販路拡大の支援策とともに消費者の有機農産物への認知度向上を目指す。これまで地産地消の取組として実施してきた学校給食の地場産食材の使用について、有機農産物を利用する割合を増やすことで新たな販路を獲得する。

みなかみ町

（令和7年3月18日オーガニックビレッジ宣言）

有機農業に取り組む農業者や農地面積が少ない状況にあり、有機農業の栽培技術が普及していないことから、有機農業に取り組む農業者の支援体制を整備、環境負荷低減・資源循環型農業である「みなかみスタイル」に取り組む農業者を増やし、段階的に有機農業の拡大を推進していく。

群馬の強みを活かした野菜生産

群馬県は標高10～1,400ｍに耕地が広がる恵まれた自然条件を活かし、年間を通じて多彩な野菜生産が行われ、大消費地の100㎞圏内に位置する立地条件により、首都圏の重要な野菜供給産地となっている。
農林水産省が公表する令和6年産「野菜生産出荷統計」において、本県の野菜の重点8品目である「ほうれんそう」が出荷量及び収穫量全国1位、「キャベツ」が出荷量及び収穫量全国1位、「きゅうり」が出荷量及び収穫量全国2位となっている。
「ほうれんそう」は、平坦地から中山間地まで広く産地が形成されており、標高差を活かした産地間のリレー栽培や、雨よけハウス等による周年栽培が行われている。
「きゅうり」は、ハウスを利用して、促成（1~6月出荷）と抑制（9~11月出荷）の2作型を組み合わせた栽培が行われている。
また、県内7農協で出荷規格等を統一した共計販売が行われ、大消費地である京浜市場をはじめ全国各地に出荷されている。
県では、栽培技術の指導やハウス施設・機械の導入を支援するとともに、ポスター等を活用した販売促進、産地紹介の動画を配信し、PR活動に取り組んでいる。



嬬恋村のキャベツ畑

農畜産物・食品の輸出の促進

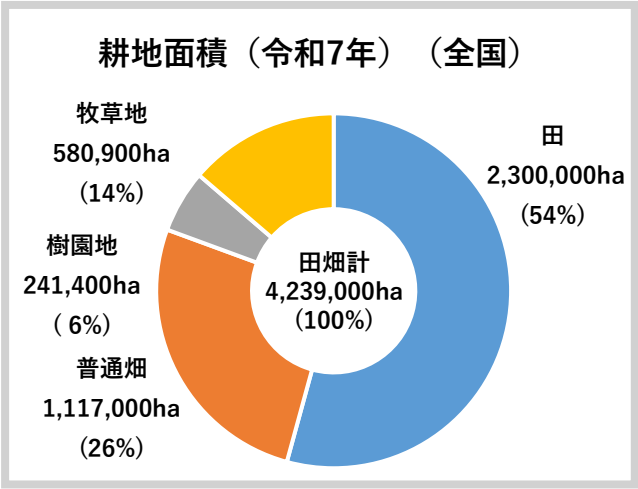
群馬県農畜産物等輸出推進機構を設置し、地域農産物やその加工品等の海外販路を開拓するため、本県の実情にあった輸出対策の基本理念を形成し、輸出事業を展開することにより、本県の農業や食品産業の育成と活性化を促進している。
令和7年群馬県農畜産物等の輸出金額は、19億7,470万円（前年比106.3%）となり米国の関税措置の影響等により牛肉の輸出は減少したものの、県産原材料を使用した乳製品の輸出が増加したことや、こんにゃく加工品の健康食品としての認知が向上していること等により、前年の実績を上回った。畜産物は、米国の関税措置の影響等により牛肉の北米向け輸出が減少したものの、県産原材料を使用した乳製品の輸出が増加したため、輸出金額は前年と比べ増加した。
県産野菜の輸出については、台湾及び香港向けに引き続きPR販売を実施するとともに、新規市場の開拓を目的とした海外現地プロモーションを実施することで、輸出品目及び量の拡大を図る。
令和8年度は、海外での群馬県農畜産物等の認知度向上や輸出に取り組む県内生産者の掘り起こしにより、輸出促進を図るとともに、輸出リスクの分散を図るため、輸出先の多角化に向けた支援を行う方針である。

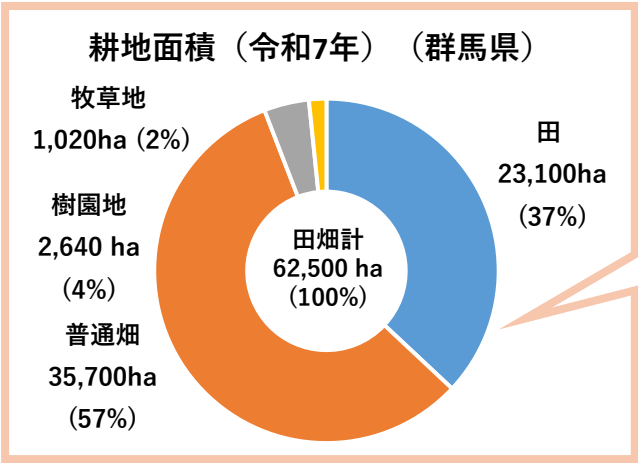


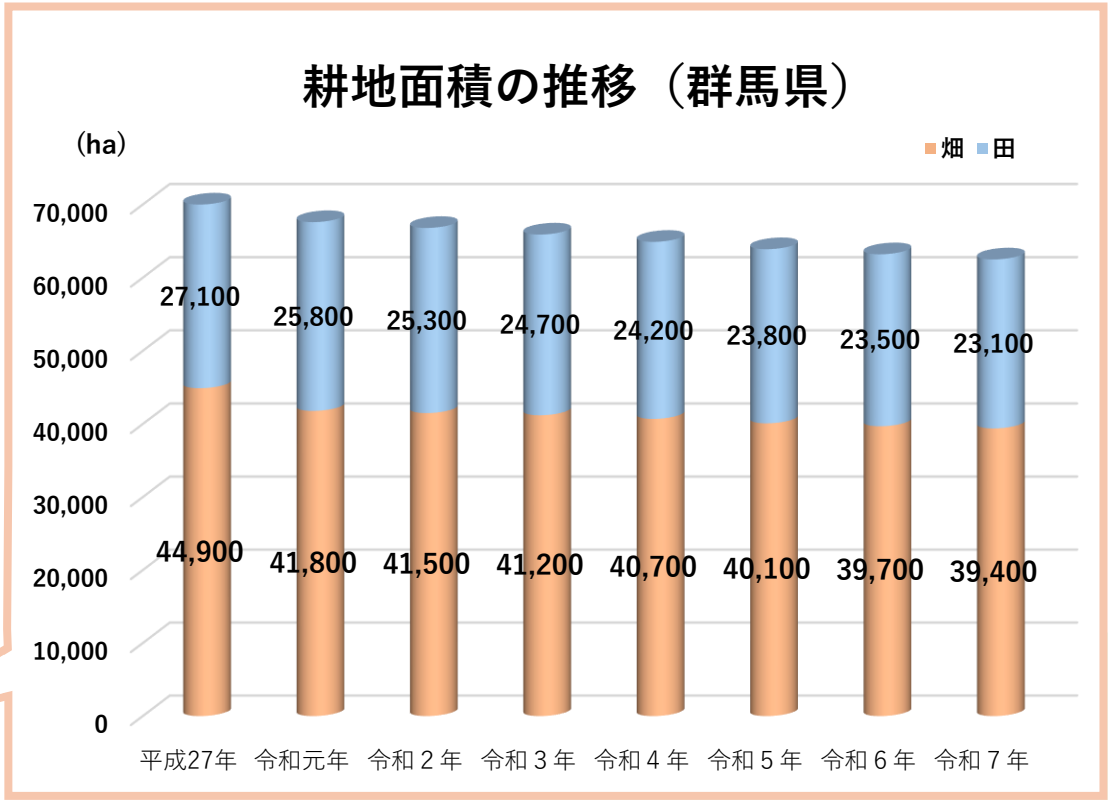
“日本の食品”輸出ＥＸＰＯに群馬県ブース出展
（令和7年12月3～5日）幕張メッセ

02 (2) 耕地面積

令和7年の耕地面積に占める畑地の割合は全国平均が45.7%であるのに対し、群馬県は63.0%と高く、全国に比べて畑地が多いことが特徴。







資料：令和７年耕地面積

02 (3) 各地域における農産物

県農政の基本指針である「群馬県農業農村振興計画2030」に基づき、基本目標「ともに創る！自然と経済の調和のもとに成長する農業・農村」の実現に向けて、農と食に関わるすべての人の相互理解のもと、本県の農業･農村の可能性を最大限に引き出し、持続的に発揮することで、県民の誰もが農業･農村の魅力と豊かさを享受できるよう、総合的な施策を展開する。

■ 地形・気候

県土の約3分の2を丘陵山岳地帯が占め、変化に富んだ地形をなしている。平坦地域では年間日照時間が長く、特に冬季には「からっ風」と呼ばれる北西の季節風が強く吹き、乾燥した天気が続く地域である。利根川水系などの豊富な水資源や大きな標高差の中に耕地が分布する等の恵まれた自然条件、大消費地に近いという有利な立地条件を活かし、多彩な農業が展開され、野菜や畜産（豚、生乳）などの産地となっている。

■ 産業構造

製造業の割合が高く、高い技術力をもった企業が多い。
県内の上位産業を生産額でみると自動車製造業をはじめとする「輸送用機械器具製造業」の割合が最も高く、次いで「食料品製造業」となっている。

■ 特産物

こんにゃくいもは、全国収穫量の96％を占め、群馬県の中山間地域における基幹作物となっており、関連産業（製粉、加工、流通）も含め、地域経済に大きな役割を果たしている。
また、キャベツ（嬬恋村など）、ほうれんそう（東部・利根沼田地域）の収穫量が全国1位、きゅうり（中部・東部の平坦地域）の収穫量は全国2位となっている。

■ 畜産

乳用牛・豚のいずれも飼養頭数が全国で5位以内に入るほど盛んである。

■ 花き

平坦地から中山間地まで地域特性に応じて、バラ・シクラメンをはじめ、多様な品目の栽培に取り組んでいる。

■ 輸出

和牛は、ヨーロッパ、アメリカ、アジア等多くの国・地域に輸出されている。こんにゃく製品は、近年、健康志向の高まりを受け、各国・地域への輸出が伸びている。

こんにゃくいも

群馬県の特産物で、収穫量は全国の96％を占める。新商品の開発や輸出に積極的に取り組んでいる。
（収穫量全国1位）



キャベツ

嬬恋村などを中心に栽培されており、収穫量は全国の20％を占める。
（収穫量全国1位）



きゅうり

県東部地域を中心に栽培され、収穫量は全国の10％を占めている。
（収穫量全国2位）



ほうれんそう

年間を通して晴天が多く、県内各地で施設・露地栽培が盛んである。
（収穫量全国1位）



ねぎ

秋冬ねぎを中心に栽培されている。下仁田ねぎは県西部地域の特産品として栽培されている。
（収穫量全国6位）



うめ

県西部の高崎市榛名地区、箕郷地区、安中市秋間地区を中心に産地を形成。
（収穫量全国2位）



生しいたけ

県西部地域を中心に菌床栽培や原木栽培が盛んに行われている。
（生産量全国3位）



生乳

赤城山麓（県中部地域）を中心に乳用牛が飼養され、全国有数の生産量を誇る。
（生産量全国5位）



豚

県中部、東部地域を中心に飼養され、全国有数の飼養頭数を誇っている。
（飼養頭数全国4位）



繭

富岡製糸場と絹産業遺産群が世界遺産に登録され、シルク製品が注目される。
（生産量全国1位）



吾妻（あがつま）地域

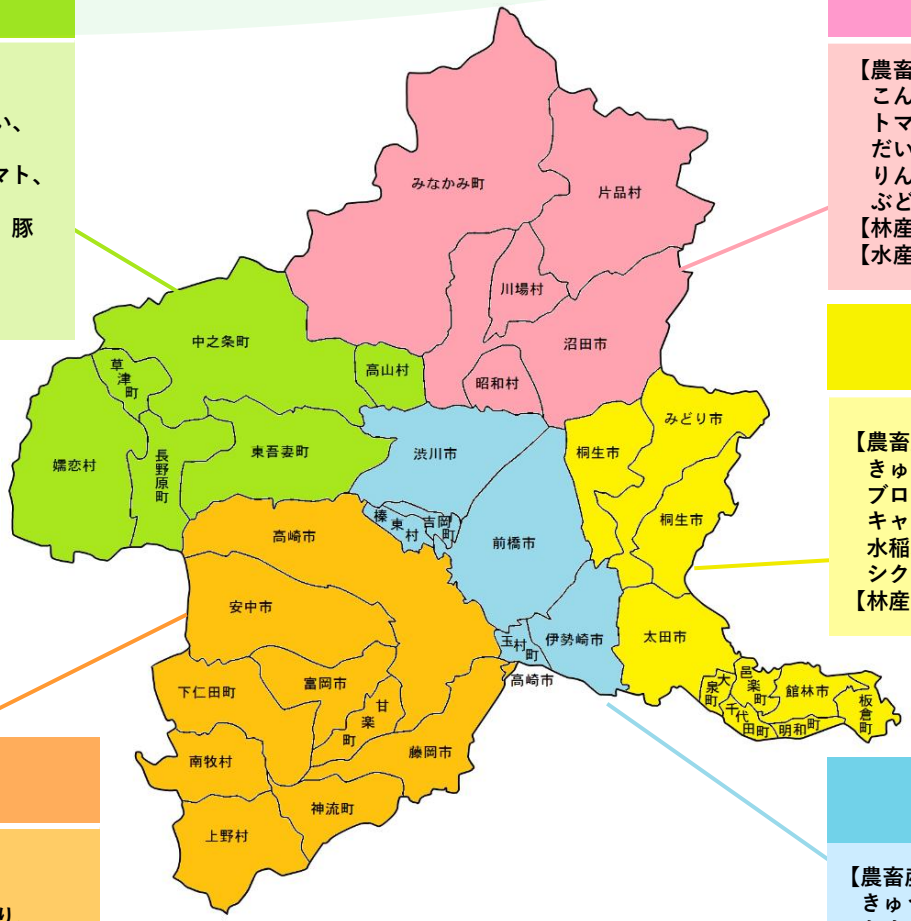
【農畜産物】
キャベツ、こんにゃくいも、はくさい、
スイートコーン、ズッキーニ、
さやいんげん、えだまめ、なす、トマト、
みょうが、レタス、りんご、いちご、
ブルーベリー、スプレーギク、鶏卵、豚
【林産物】生しいたけ、えのきたけ
【水産物】にじます

利根沼田地域

【農畜産物】
こんにゃくいも、キャベツ、レタス、
トマト、ほうれんそう、みょうが、
だいこん、スイートコーン、えだまめ、
りんご、いちご、ブルーベリー、おうとう、
ぶどう、水稲、ふき、生乳
【林産物】生しいたけ、まいたけ
【水産物】にじます

東部地域

【農畜産物】
きゅうり、トマト、なす、ほうれんそう、
ブロッコリー、はくさい、にがうり、
キャベツ、ねぎ、やまのいも、いちご、
水稲、カーネーション、あじさい、
シクラメン、肉用牛、豚
【林産物】生しいたけ、まいたけ



西部地域

【農畜産物】
うめ、ねぎ、なす、トマト、きゅうり、
はくさい、いちご、日本なし、プラム、
キウイフルーツ、キク、繭、シンビジウム、
オリーブ、こんにゃくいも、豚
【林産物】生しいたけ、なめこ、まいたけ
【水産物】こい

中部地域

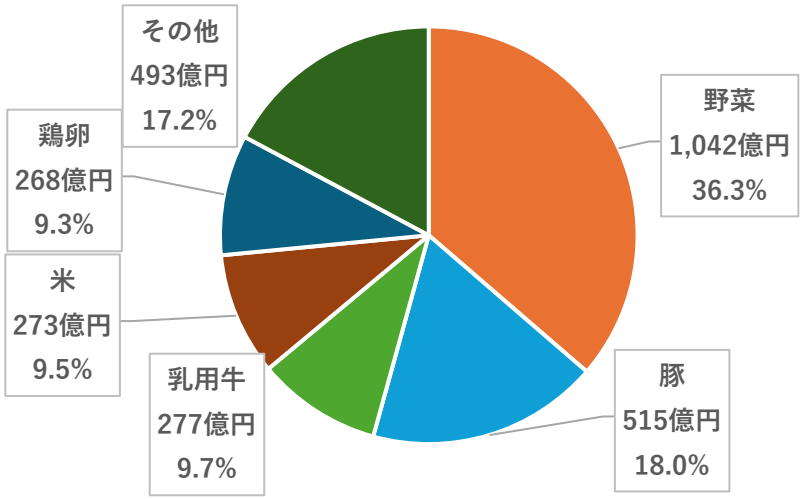
【農畜産物】
きゅうり、ねぎ、ブロッコリー、トマト、
なす、ちんげんさい、ほうれんそう、ごぼう、
はくさい、いちご、りんご、ブルーベリー、
こんにゃくいも、水稲、小麦、生乳、豚、
肉用牛、鶏卵
【林産物】生しいたけ
【水産物】こい

出典：ぐんまの園芸2026、群馬県野菜振興計画2026、令和6年版 群馬県森林林業統計書

03 (1) データで見る群馬県の農林水産業

・農業産出額は2,868億円で全国15位。うち米が273億円（9.5%）、野菜が1,042億円（36.3%）、畜産が1,327億円（46.3%）。
・農畜産物の生産状況は、こんにゃくいも、キャベツ、ほうれんそう、繭が全国1位、きゅうり、ふき、うめが2位。

農業産出額の概略



農畜産物の生産状況

区　　分	年次	群　馬　県	全　　国	全国順位
こんにゃくいも	収穫量	R7	37,000　t	38,500　t	1
キャベツ	収穫量	R6	271,700　t	1,294,000　t	1
きゅうり	収穫量	R6	50,800　t	502,900　t	2
ほうれんそう	収穫量	R6	22,600　t	189,900　t	1
ねぎ	収穫量	R6	18,300　t	399,200　t	6
ふき	収穫量	R6	775　t	6,280　t	2
うめ	収穫量	R6	4,150　t	51,600　t	2
豚	飼養頭数	R6	610,800　頭	8,798,000　頭	4
生乳	生産量	R7	195,201　t	7,418,222　t	5
繭	生産量	R6	15　t	38　t	1

出典：　「特定作物統計」、「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「畜産統計」、「牛乳乳製品統計」、「蚕糸業の現状について　令和７年10月」

農業産出額のデータ

区　　分	群馬県の農業産出額	全国の農業総産出額	全国順位
農業産出額	2,868 億円 (100.0)	107,801 億円 (100.0)	15
米	273 億円 (9.5)	25,524 億円 (23.7)	30
麦類	23 億円	582 億円	5 *
雑穀	1 億円	87 億円	13
豆類	1 億円	621 億円	27
いも類	9 億円	2,565 億円	25
野菜	1,042 億円 (36.3)	25,510 億円 (23.7)	6
果実	78 億円 (2.7)	10,112 億円 (9.4)	30
花き	55 億円	3,423 億円	22
工芸農作物	44 億円	1,577 億円	6
その他作物	13 億円	583 億円	12 *
畜産	1,327 億円 (46.3)	36,654 億円 (34.0)	8
肉用牛	189 億円	7,861 億円	10
乳用牛	277 億円	10,035 億円	4
生乳	253 億円	8,937 億円	5
豚	515 億円	7,567 億円	5
鶏	331 億円	10,170 億円	11
鶏卵	268 億円	5,764 億円	8
ブロイラー	48 億円	4,259 億円	16 *
その他畜産物	15 億円	1,021 億円	5
加工農産物	1 億円	565 億円	27

出典：「令和6年農業総産出額及び生産農業所得（全国）」、「令和6年農業産出額及び生産農業所得（都道府県別）」
注：（　）は農業総産出額及び農業産出額を100%とした割合である。

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方・令和7年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用・表中に使用した記号は次のとおり

「０」：単位に満たないもの（例：0.4ｔ→０ｔ）
「－」：事実のないもの「…」：調査を欠くもの
「ｘ」：秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。
「＊」：秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順位

・耕地面積は63,200haで全国19位。うち田が23,500ha、畑が39,700ha。
・農業経営体数は15,133経営体で全国25位。うち法人経営体が771経営体で18位。
・市町村認定及び都道府県認定経営体数は4,457経営体で全国19位。うち法人数が679法人で17位。
・農業生産関連事業は、観光農園の年間販売（売上げ）金額が約17億円で全国7位、経営体数は210経営体で5位。

耕地面積

区　分	群　馬　県	全　国	全国順位
耕地面積	63,200 ha	4,272,000 ha	19
田	23,500 ha	2,319,000 ha	32
畑	39,700 ha	1,952,000 ha	8
普通畑	36,000 ha	1,118,000 ha	6
樹園地	2,670 ha	248,600 ha	29
牧草地	1,040 ha	585,900 ha	17
参考）総土地面積	6,362.28 ha	377,979.74 ha	21

出典：　「令和６年耕地面積（7月15日現在）」、
「令和８年全国都道府県市区町村別面積調（１月１日時点）」（国土交通省国土地理院）

荒廃農地面積

区　分	群　馬　県	全　国	全国順位
荒廃農地面積	9,079 ha	256,667 ha	10

出典：　「令和６年度の荒廃農地面積（令和７年３月３１日現在）」

農業経営体数、総農家数及び集落営農数

区　分	群　馬　県	全　国	全国順位
農業経営体数	15,133 経営体	836,054 経営体	25
法人経営体	771 経営体	33,819 経営体	18
総農家数	33,121　戸	836,054　戸	19
販売農家	14,442　戸	792,808　戸	25
参考）世帯総数	805,252　世帯	55,830,154　世帯	17
集落営農数	115 集落営農	13,952 集落営農	32

出典：　「2025年農林業センサス（令和７年２月１日現在）」、「令和２年国勢調査」（総務省統計局）、「令和７年集落営農実態調査結果（令和７年２月１日現在）」

担い手への農地の集積状況

区　分	群　馬　県	全　国	全国順位
担い手への集積面積	27,886 ha	2,627,068 ha	21
集積率	44.1 %	61.5 %	23

出典：　「農地中間管理機構の実績等に関する資料（令和６年度版）」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区　分	群　馬　県	全　国	全国順位
基幹的農業従事者数	21,264　人	1,036,228　人	24
男	13,402　人	659,332　人	23
女	7,862　人	376,896　人	22
65歳以上	14,578　人	721,311　人	24
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	68.6　%	69.6　%	-
国、市町村認定及び都道府県認定経営体数	4,457 経営体	212,136 経営体	19
法人数	679　法人	29,684　法人	17
参考）人口総数	1,939,110　人	126,146,099　人	18

出典：　「2025年農林業センサス（令和７年２月１日現在）」、「認定農業者の認定状況（令和７年３月末現在）」、「令和２年国勢調査」（総務省統計局）

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区　分		群　馬　県	全　国	全国順位
農産加工	総額	30,151 百万円	1,006,107 百万円	11
	事業体数	540 事業体	26,910 事業体	22
農産物直売所	総額	29,924 百万円	1,134,381 百万円	12
	事業体数	840 事業体	20,960 事業体	5
観光農園	総額	1,739 百万円	39,113 百万円	7 ＊
	経営体数	210 経営体	4,350 経営体	5
農家民宿	総額	294 百万円	4,933 百万円	5 ＊
	経営体数	10 経営体	770 経営体	20
農家レストラン	総額	953 百万円	39,900 百万円	16 ＊
	事業体数	30 事業体	1,390 事業体	16

出典：　「令和６年度６次産業化総合調査結果」

03 ⑵ データで見る群馬県の林業

・林業産出額は70.9億円で全国25位。うち木材生産が22.5億円、栽培きのこ類生産が48.2億円。
・林産物の生産状況は、素材生産量が全国27位、生しいたけが全国3位、なめこ、からまつ、まいたけが8位、生きくらげ類が9位。

林業産出額

区　分	群　馬　県	全　国	全国順位
林業産出額	70.9 億円	4,769.8 億円	25
木材生産	22.5 億円	2,369.4 億円	26
栽培きのこ類生産	48.2 億円	2,322.7 億円	10

出典：「令和６年林業産出額」

林野面積

区　分	群　馬　県	全　国	全国順位
林野面積	410,779 ha	24,744,214 ha	21
国有林	178,039 ha	7,117,059 ha	9
民有林	232,740 ha	17,627,155 ha	31
人工林面積	176,181 ha	10,059,386 ha	25

出典：「2025年農林業センサス（令和7年2月1日現在）」

林業経営体数

区　分	群　馬　県	全　国	全国順位
林業経営体数	304 経営体	23,300 経営体	29
法人経営体	71 経営体	3,813 経営体	21

出典：「2025年農林業センサス（令和７年２月１日現在）」

林業の生産状況

区　分		群　馬　県	全　国	全国順位
素材生産量		193 千㎥	19,763 千㎥	27
針葉樹		166 千㎥	18,398 千㎥	27
すぎ		134 千㎥	11,716 千㎥	23
からまつ		13 千㎥	1,733 千㎥	8
広葉樹		27 千㎥	1,365 千㎥	11
生しいたけ	生産量	3,984 t	61,959 t	3
なめこ	生産量	733 t	23,874 t	8 *
まいたけ	生産量	1,271 t	56,609 t	8 *
生きくらげ類	生産量	62 t	1,693 t	9 *

出典：「令和６年木材統計」、「令和６年特用林産基礎資料」

製材工場数

区　分	群　馬　県	全　国	全国順位
製材工場数	71 工場	3,547 工場	23
製材用素材の入荷があった工場数	71 工場	3,492 工場	22
国産材のみ	61 工場	3,013 工場	21
国産材と輸入材	10 工場	386 工場	17

出典：「令和６年木材統計」

03 (3) データで見る群馬県の漁業

・水産物の生産状況は、内水面漁業のふなが全国12位、内水面養殖業のこいが5位、にじますが9位。

漁業産出額

区　分	群　馬　県	全　国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	0 億円	14,785 億円	-
海　面　漁　業	0 億円	8,894 億円	-
海　面　養　殖　業	0 億円	5,891 億円	-

出典：「令和６年漁業産出額」

漁業経営体数

区　分	群　馬　県	全　国	全国順位
海面漁業経営体数	0 経営体	65,662 経営体	-
内水面漁業経営体数	42 経営体	4,076 経営体	26

出典：「2023年漁業センサス（令和５年11月１日現在）」

漁業就業者数

区　分	群　馬　県	全　国	全国順位
海面漁業就業者数	0 人	121,389 人	-
男	0 人	109,757 人	-
女	0 人	11,632 人	-

出典：「2023年漁業センサス（令和５年11月１日現在）」

漁船隻数

区　分	群　馬　県	全　国	全国順位
漁船隻数	0 隻	109,284 隻	－
動力漁船	0 隻	58,907 隻	－

出典：「2023年漁業センサス（令和5年11月1日現在）」

水産物の生産状況

区　分	群　馬　県	全　国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	- t	3,589,122 t	-
海面漁業漁獲量	- t	2,786,195 t	-
海面養殖業収獲量	- t	802,927 t	- *
内水面漁業・養殖業生産量	291 t	47,046 t	21
内水面漁業漁獲量	2 t	17,915 t	37 *
ふな	1 t	248 t	12
内水面養殖業収獲量	289 t	29,131 t	15
にじます	165 t	5,202 t	9
こい	56 t	1,617 t	5

出典：「令和６年漁業・養殖業生産統計」

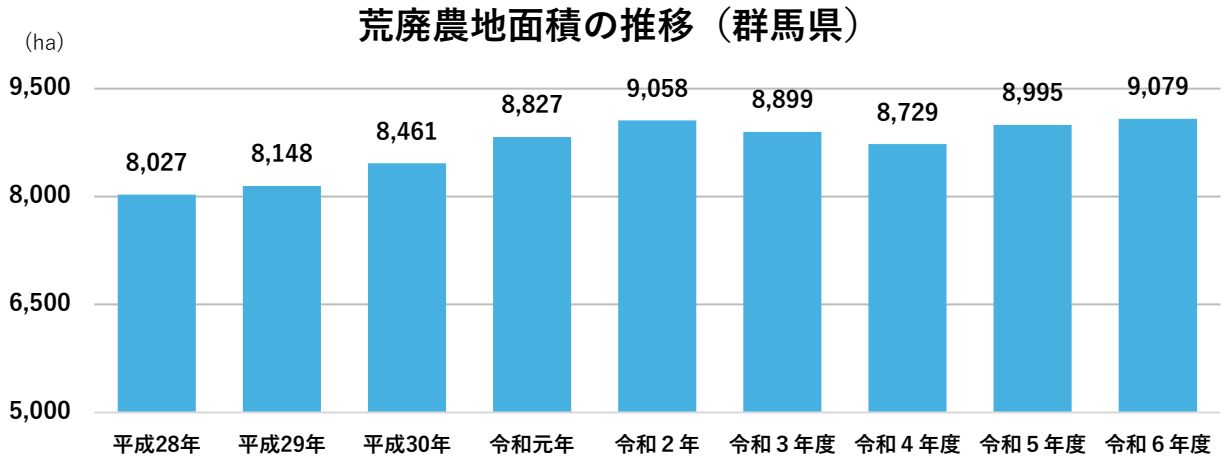
漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

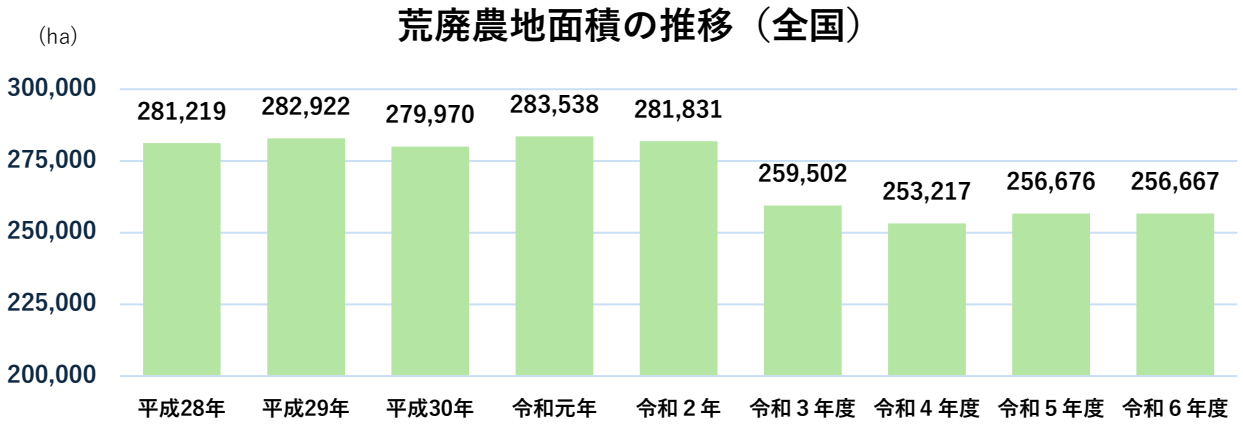
区　分		群　馬　県	全　国	全国順位
水産加工	総額	0 百万円	193,147 百万円	-
	事業体数	0 事業体	1,160 事業体	37
水産物直売所	総額	0 百万円	34,259 百万円	- *
	事業体数	0 事業体	780 事業体	33
漁家民宿	総額	0 百万円	5,440 百万円	- *
	経営体数	0 経営体	540 経営体	30
漁家レストラン	総額	0 百万円	13,511 百万円	- *
	事業体数	0 事業体	380 事業体	30

出典：「令和６年度６次産業化総合調査結果」

03 ⑷ 群馬県の荒廃農地面積の推移

・群馬県の荒廃農地面積は令和2年以降減少に転じたが、令和5年度から再び増加し、令和6年度は9,079haとなった。



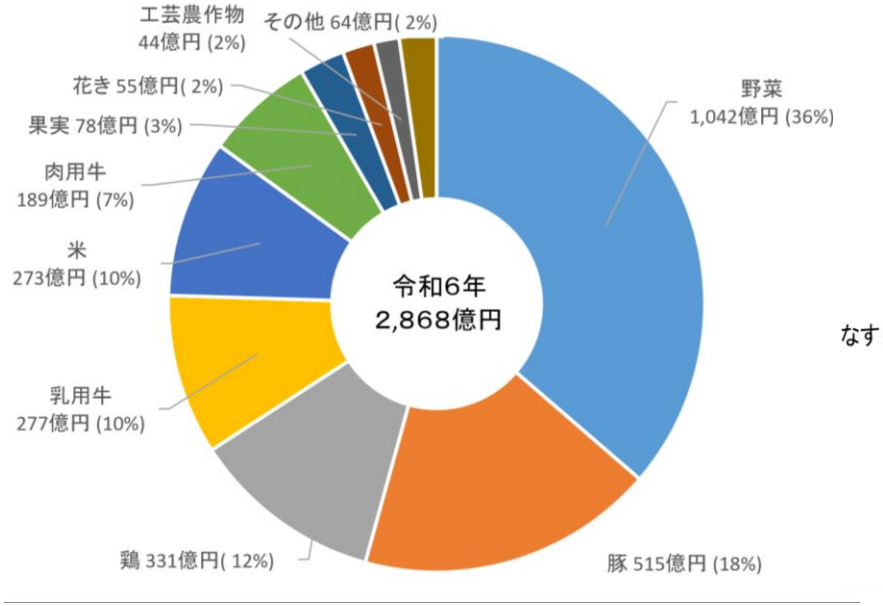


資料：荒廃農地の発生・解消状況に関する調査
注：荒廃農地とは、「現に耕作に供されておらず、耕作の放棄により荒廃し、通常の農作業では作物の栽培が客観的に不可能となっている農地」である。

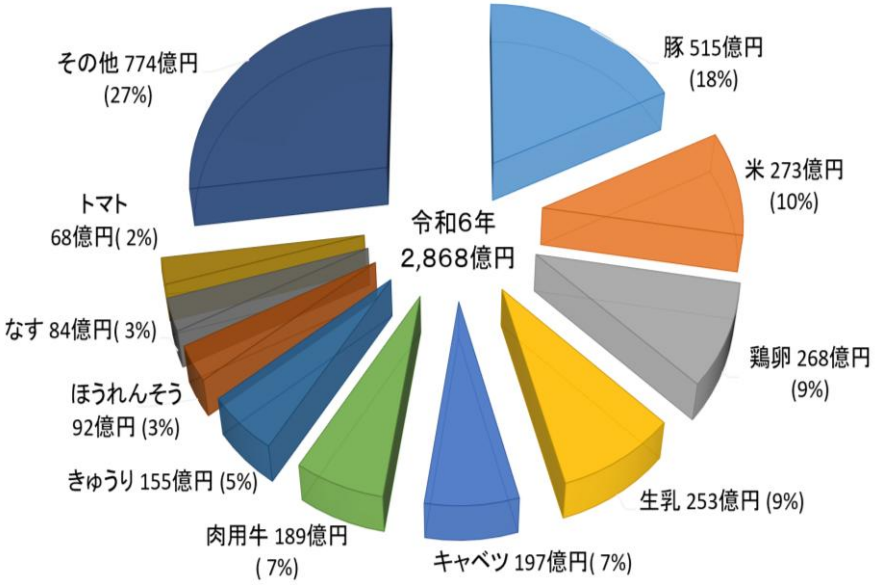
03 ⑸ 群馬県の農業産出額と主な農産物

令和6年の農業産出額は2,868億円で、全国15位。
部門別内訳は、野菜が36％と最も多く、次いで豚18％、鶏12％、乳用牛10％となっており、品目別に見ると、豚18％、米10％、鶏卵及び生乳9％、キャベツ及び肉用牛7％となっている。

令和６年農業産出額の部門別割合



令和６年農業産出額の品目別割合

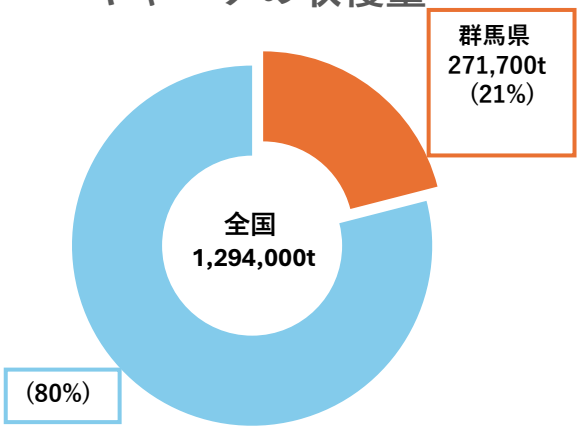


資料：令和６年　農業産出額及び生産農業所得（都道府県別）

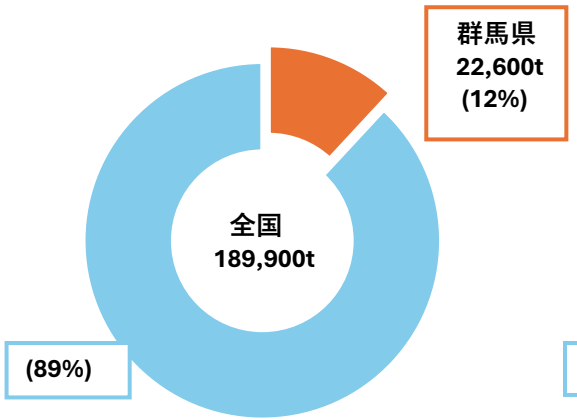
03 ⑹ 群馬県の主要品目の収穫量等

野菜の全国に占める割合の高い品目は、キャベツ21%、ほうれんそう12%、レタス11%、きゅうり及びなす10%となっており、地域特産野菜では、うど32%となっている。

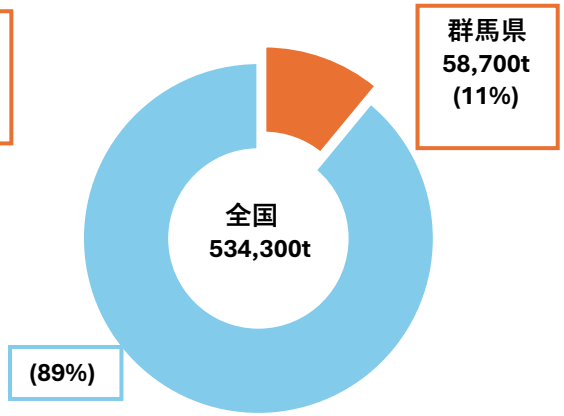
キャベツの収穫量



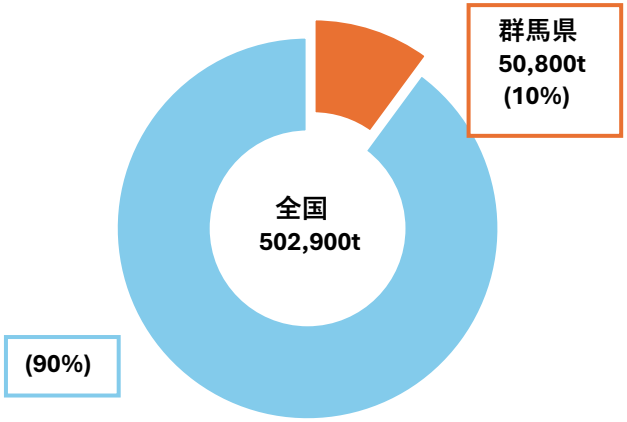
ほうれんそうの収穫量



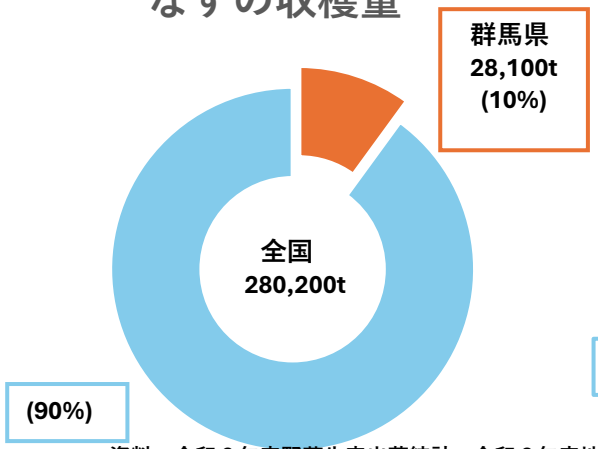
レタスの収穫量



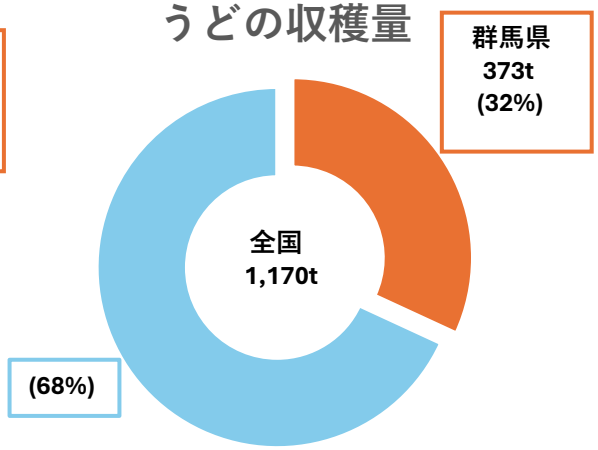
きゅうりの収穫量



なすの収穫量



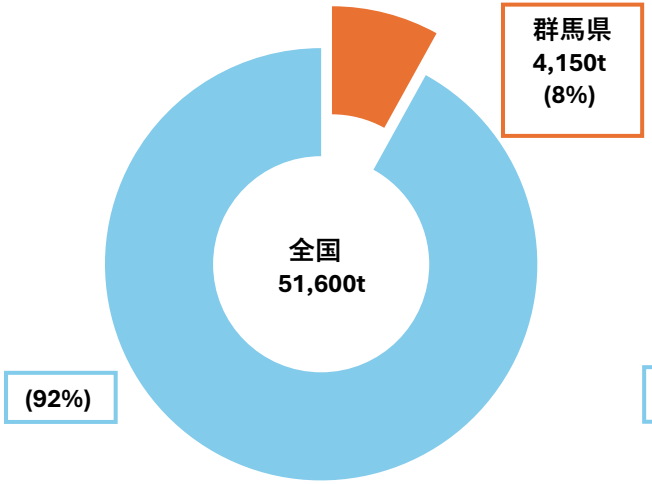
うどの収穫量



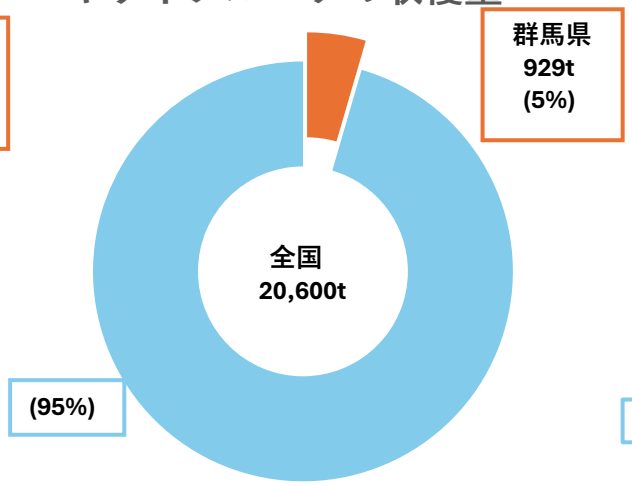
資料：令和６年産野菜生産出荷統計、令和６年産地域特産野菜生産状況、令和５年産特産果樹生産動態等調査

果樹の全国に占める割合の高い品目は、うめ8%、キウイフルーツ5%、ブルーベリー11%、
工芸農作物、花きの全国に占める割合の高い品目は、こんにゃくいも96%、ばら6%、
特用林産物の全国に占める割合の高い品目は、生しいたけ6%となっている。

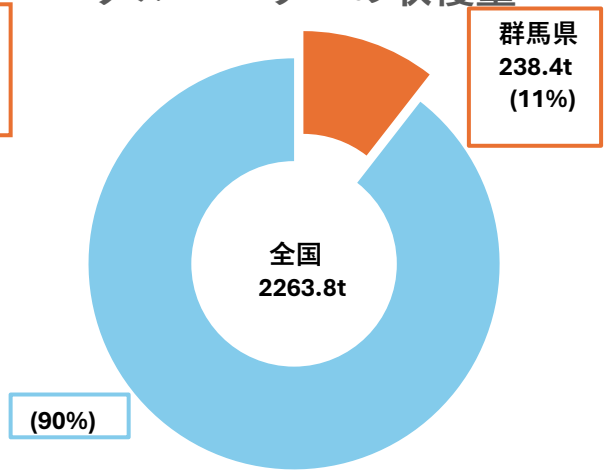
うめの収穫量



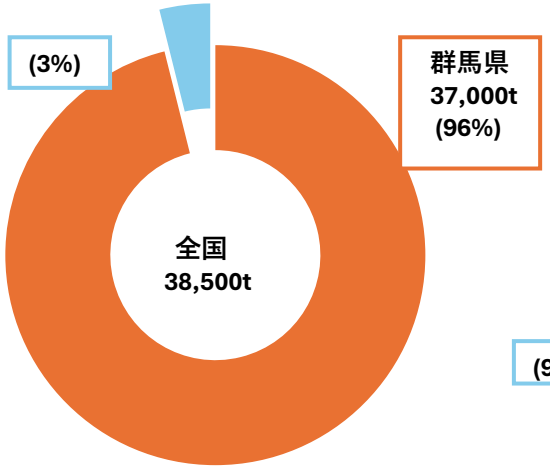
キウイフルーツの収穫量



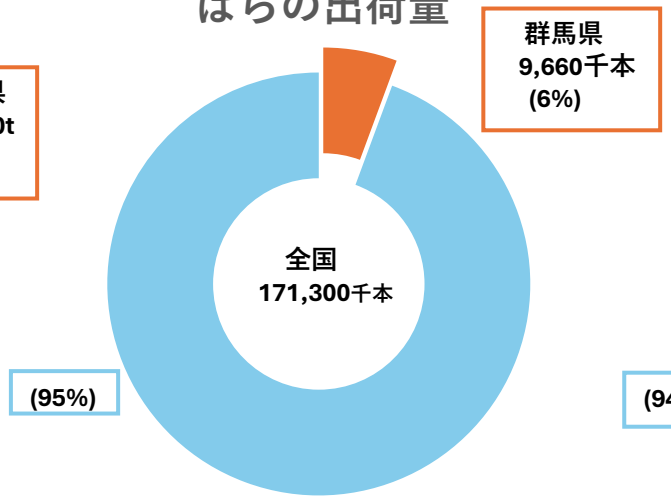
ブルーベリーの収穫量



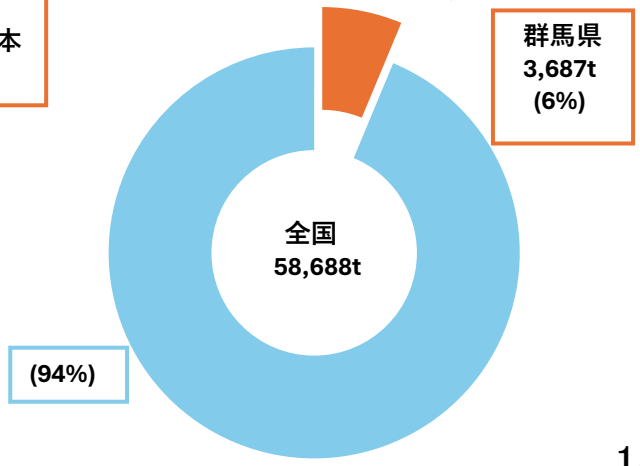
こんにゃくいもの収穫量



ばらの出荷量



生しいたけの生産量

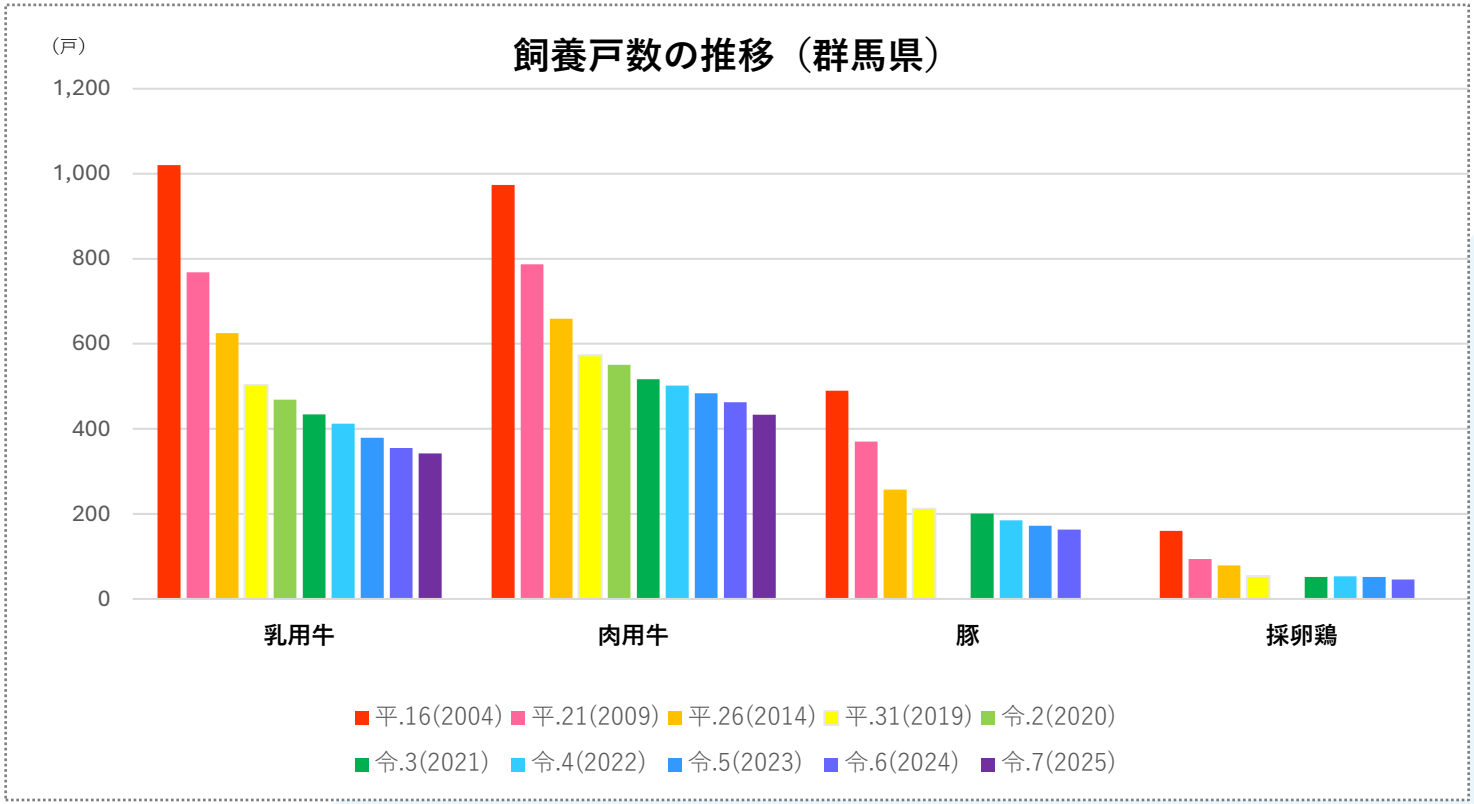


資料：令和６年産果樹生産出荷統計、令和５年産特産果樹生産動態等調査、令和７年産特定作物統計、令和６年産花き生産出荷統計、令和６年特用林産基礎資料

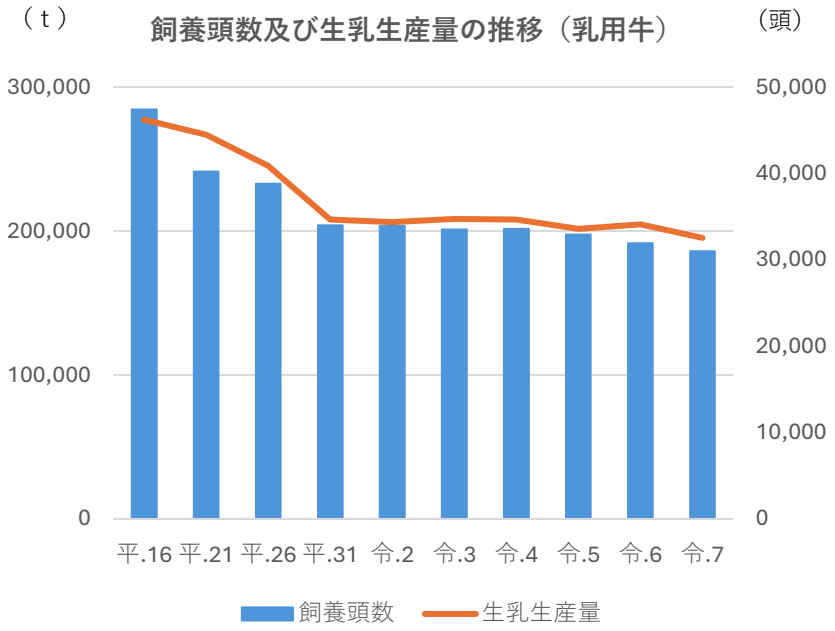
03 (7) 群馬県の畜産動向

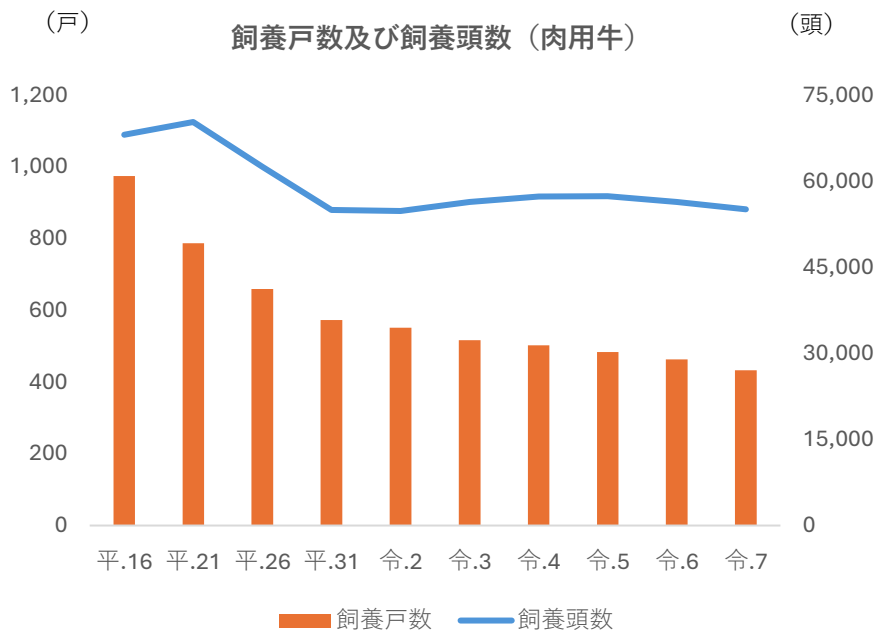
乳用牛飼養戸数・頭数は減少傾向で推移し、生乳生産量は令和3年以降、約20万トンで推移している。
国内の鶏卵生産量は令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症や高病原性鶏インフルエンザの発生による影響から減少。県内の鶏卵生産量は、令和3年に10万トンを超え増加傾向で推移。

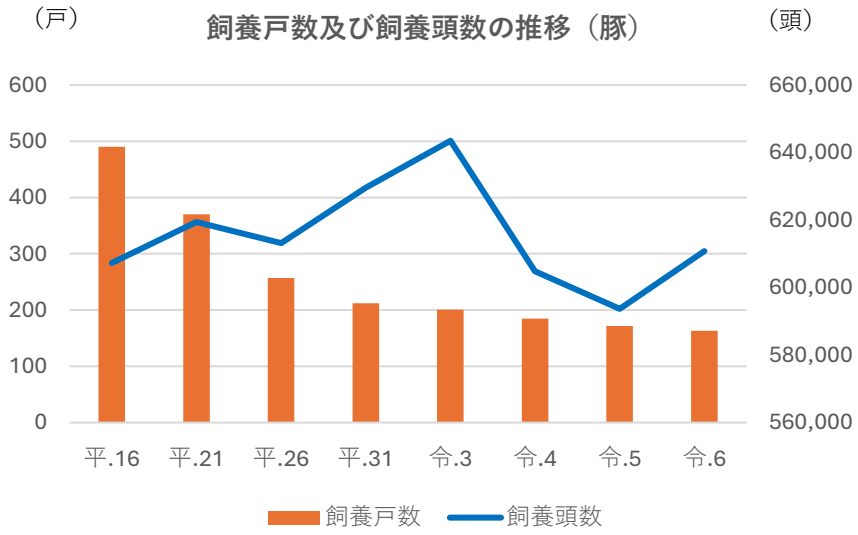
※令和２年及び令和７年の豚、採卵鶏は、農林業センサス実施年のため調査休止。

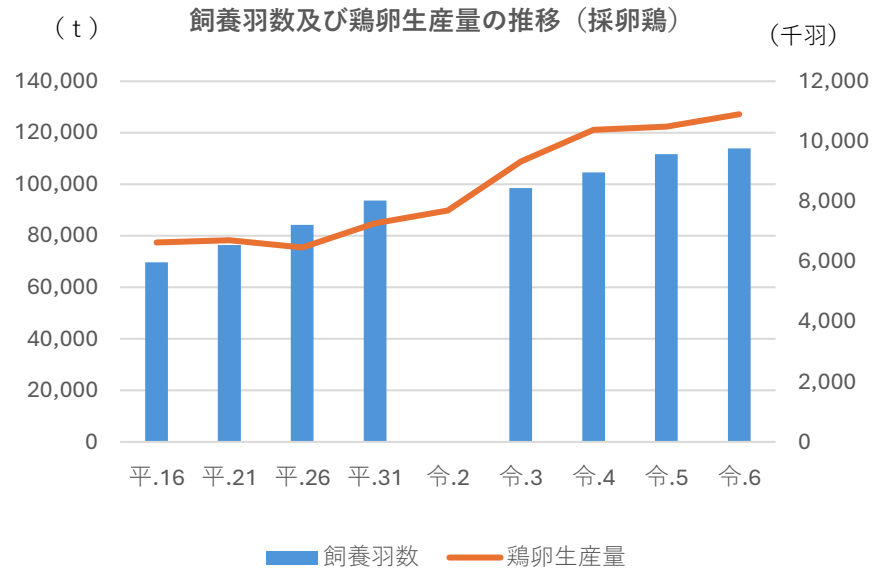


資料：畜産統計（各年２月１日現在）、牛乳乳製品統計、鶏卵流通統計









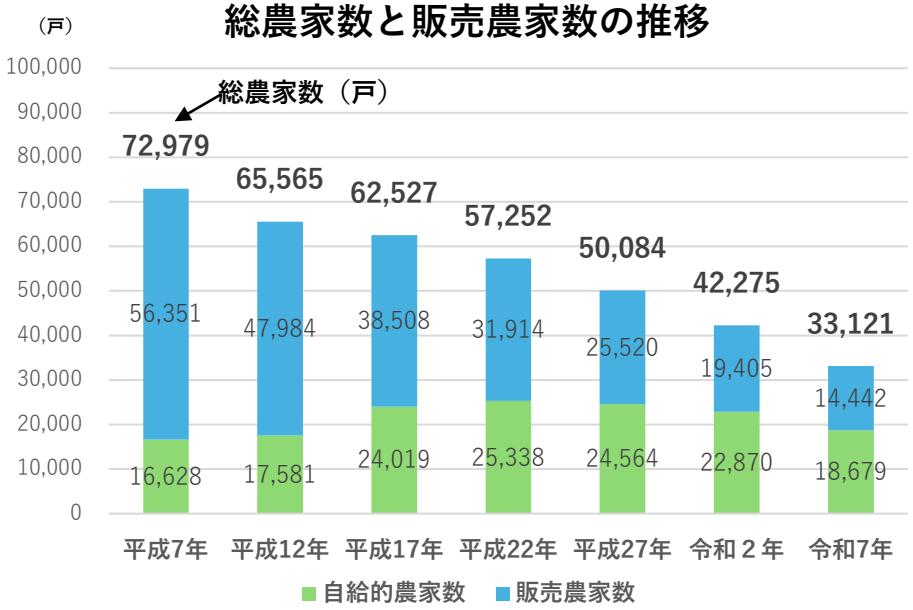
資料：畜産統計（各年２月１日現在）、牛乳乳製品統計、鶏卵流通統計

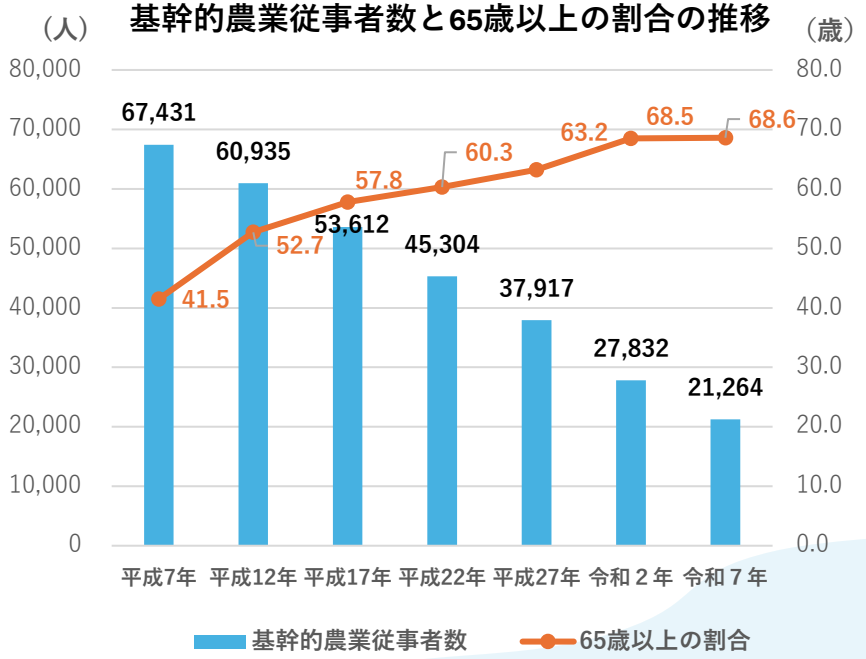
03 ⑻ 群馬県の農家数の推移

令和7年の総農家数は33,121戸で平成7年の約5割以下に減少した。
販売農家数は、14,442戸と約3割以下まで減少した。

令和7年の基幹的農業従事者数は21,264人で平成7年の約3割に減少した。
基幹的農業従事者数に対する65歳以上の割合は、令和2年からはほぼ横ばいで推移している。

◎ 群馬県の総農家数と販売農家数の推移、基幹的農業従事者数と65歳以上の割合の推移



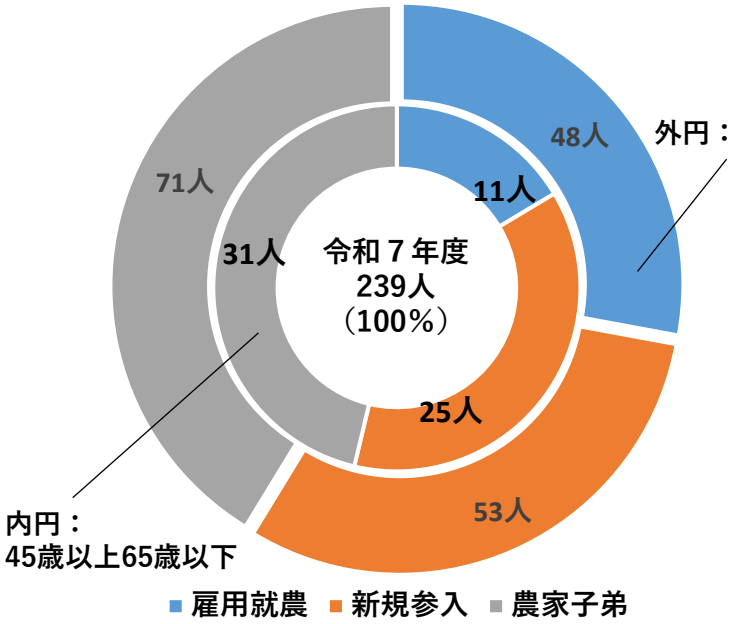


資料：2025年農林業センサス
・基幹的農業従事者とは、15歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者（雇用者は含まない）。
・平成27年までの数値は販売農家、令和２年は個人経営体の数値。

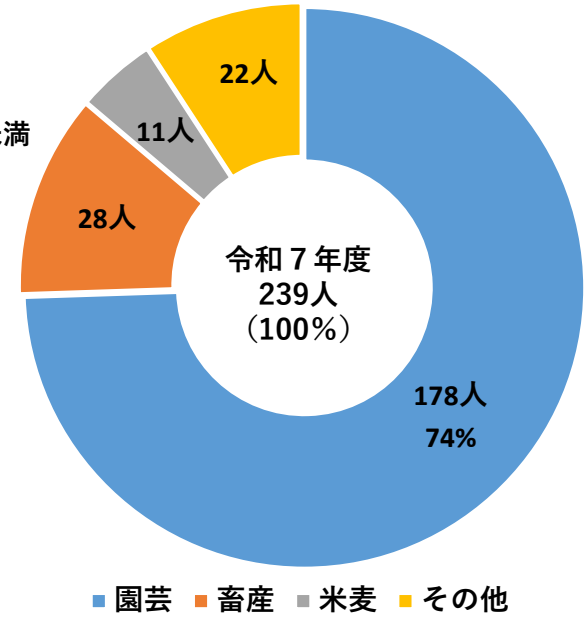
03 ⑼ 群馬県の新規就農者数

令和7年度の45歳未満の新規就農者は172人となり、昨年度の178人から6人減少したが、一方で、新規参入者は53人となり、過去最高となった。経営部門別では、畜産での就農者が前年より5人増加した。
45歳以上65歳以下の新規就農者数は67人であり、前年度の58人から9人増加した。

令和7年度新規就農者数



新規就農者の営農部門

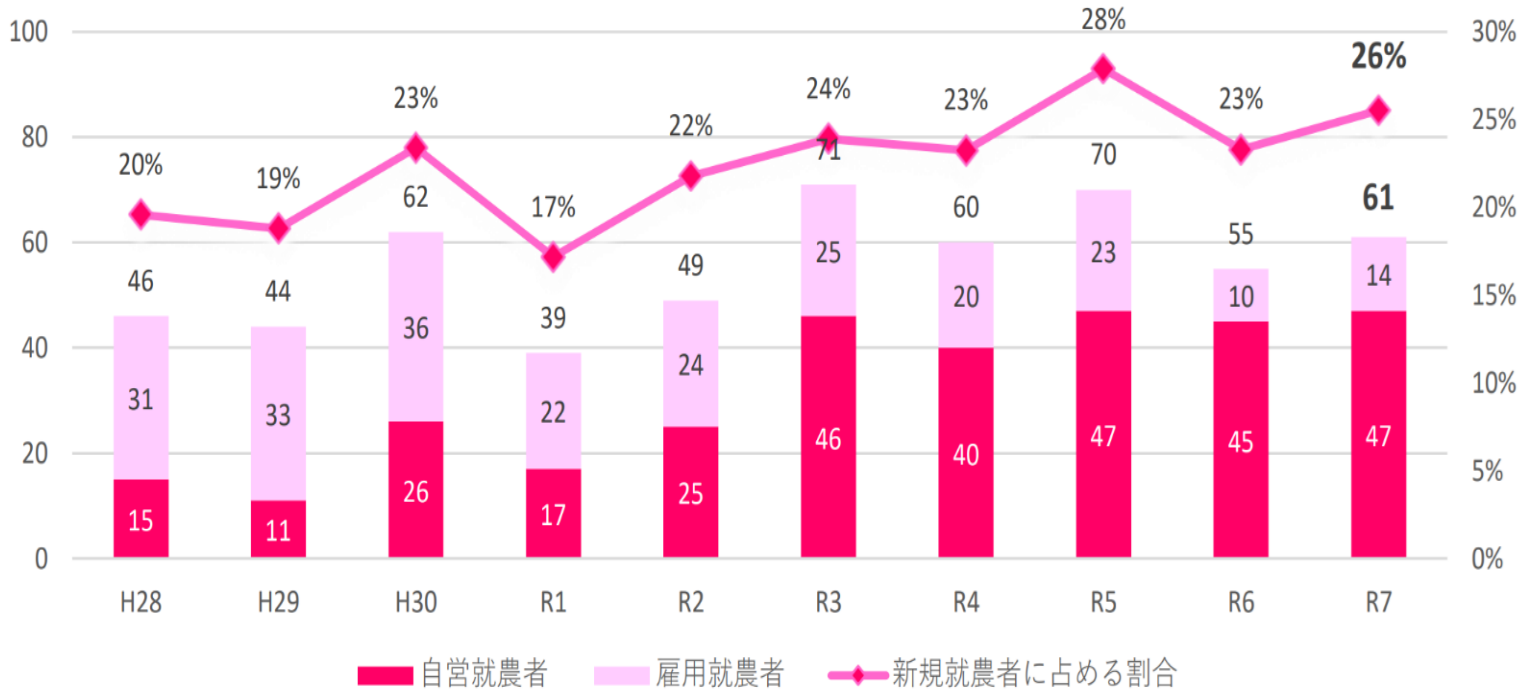


資料：群馬県
注1　新規参入者とは、非農家出身者が独立就農、又は農家出身者が実家の経営資源を頼らずに独立就農した者のことである。

03 ⑩ 群馬県の新規女性就農者の推移

令和7年度の65歳以下の新規女性就農者は61人となり、昨年度の55人から6人増加した。
さらに、新規就農者に占める女性就農者の割合も26%となり、昨年度の23%から3%上昇した。

新規女性就農者の推移　※６５歳以下

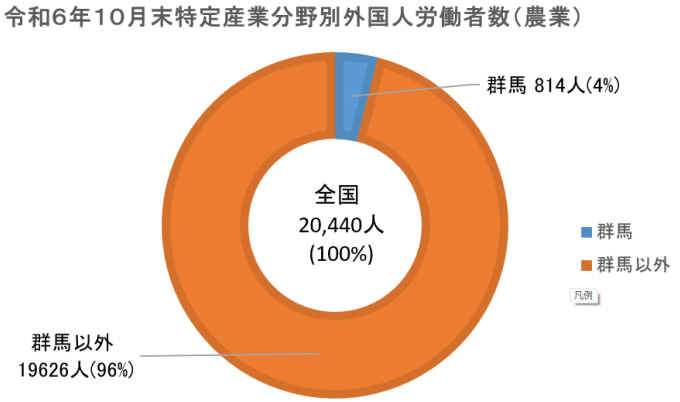


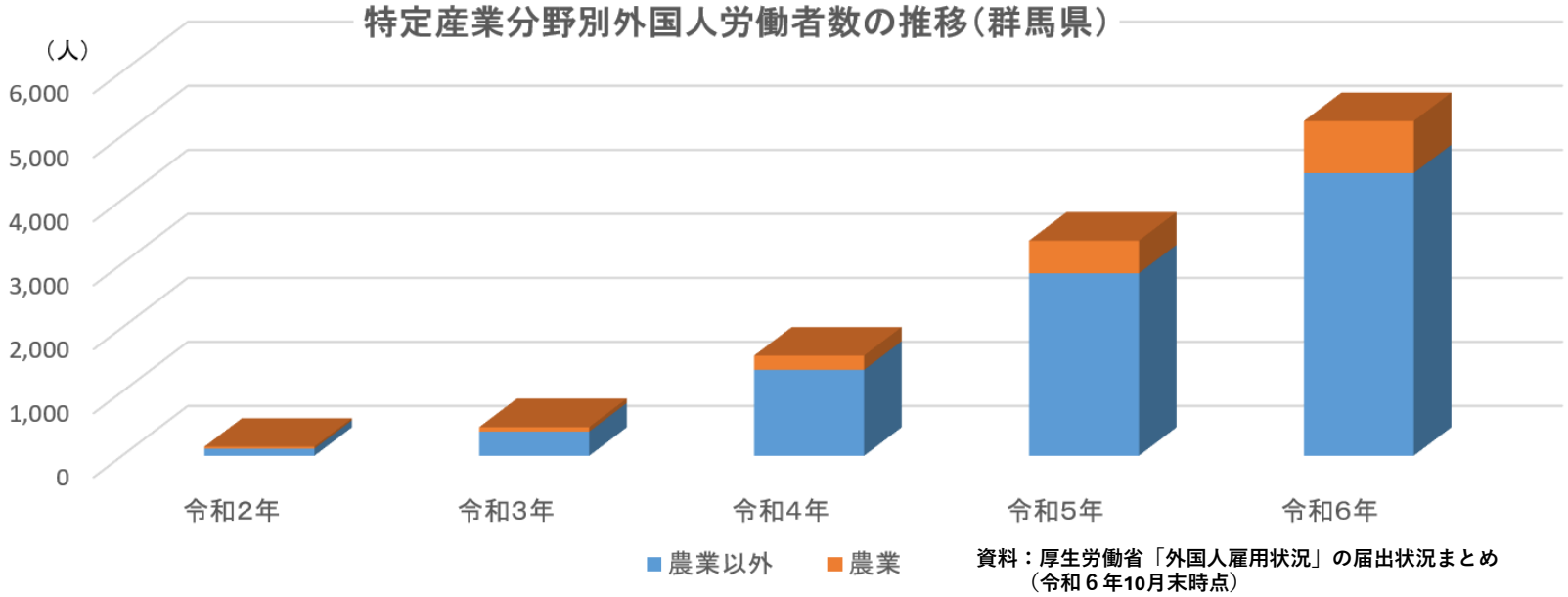
資料：群馬県

03 ⑾ 群馬県の外国人労働者数の推移

＊特定産業分野別外国人労働者数（在留資格「特定技能」に限る）

令和６年10月末時点の全国の特定産業分野別外国人労働者数は206,995人、うち農業分野は20,440人（9.9%）。
群馬県における特定産業分野別外国人労働者は令和3年以降増加傾向であるが、農業分野の割合は15%前後で推移。
群馬県の農業分野外国人労働者は814人で、全国に占める割合は4%。





資料：厚生労働省「外国人雇用状況」の届出状況まとめ
（令和６年10月末時点）

03

⑫ 特定技能人材による産地間人財リレーの取組事例

令和5年3月に、（一社）宮崎県農業法人経営者協会、嬬恋キャベツ振興事業協同組合及び登録支援機関（㈱ウィルテック）の三者間で、「産地間人財リレーに関する連携協定」を締結した。

夏場、北関東地域（長野県・群馬県）でキャベツ、白菜、レタスの収穫に従事していたミャンマー人、ベトナム人が、宮崎県に移動して、地元の特産野菜の収穫に従事。

【実績】
令和5年度　6社46名
令和6年度　9社56名（見込み）
※収穫期等の農繁期の労働力として増加

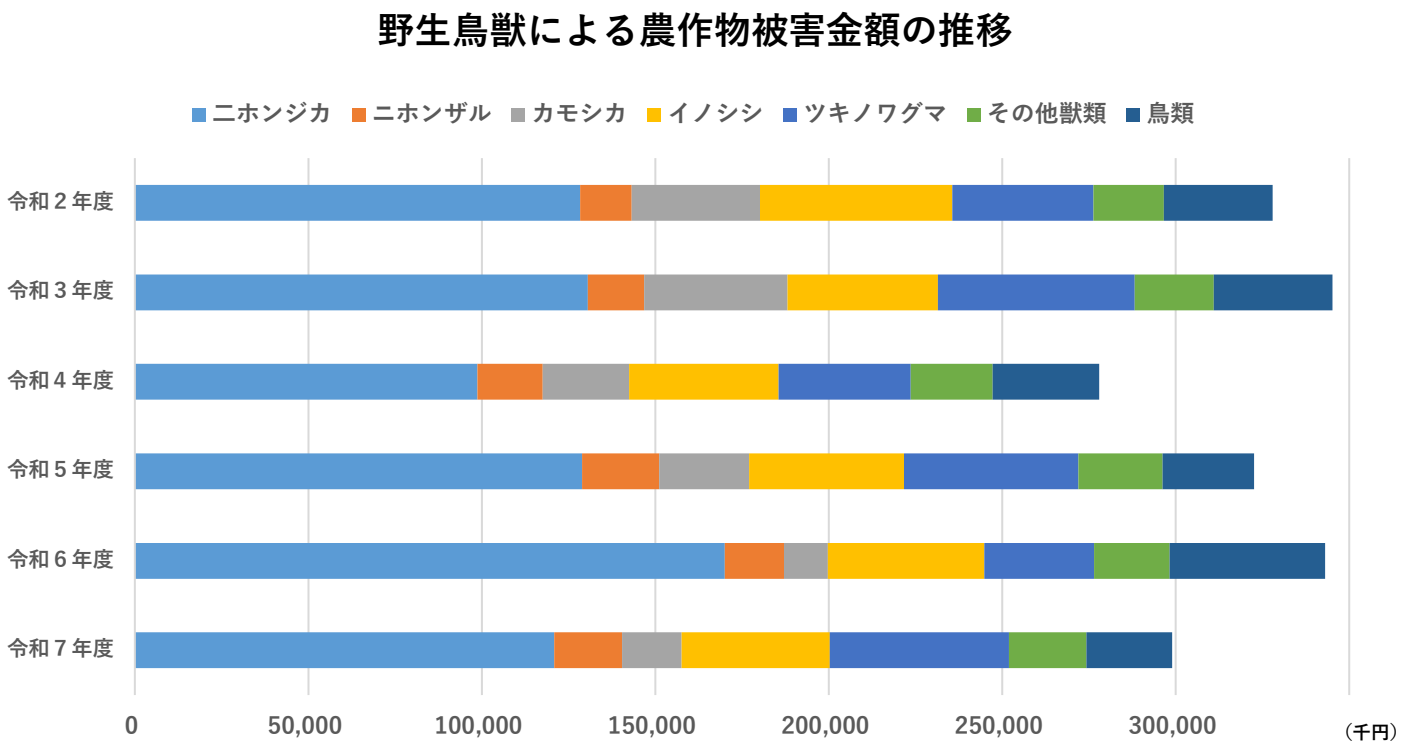


03

⑬ 群馬県の野生鳥獣被害の状況

令和7年度の野生鳥獣による農業被害金額は298,983千円（前年度比87％）となった。
被害額に占める割合が最も大きいニホンジカによる被害の減少によって、全体の農業被害金額も減少したと考えられる。

農作物の被害金額推移（令和2年度～令和7年度）



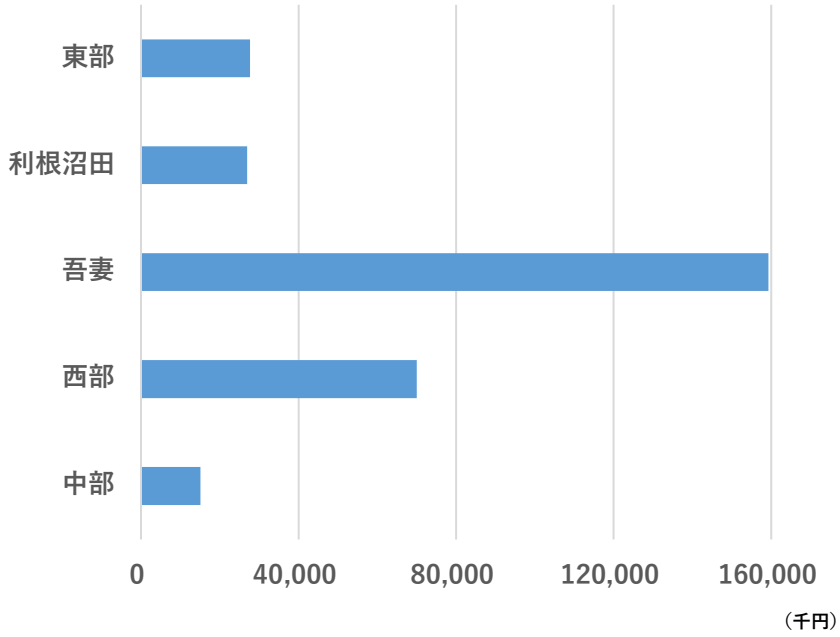
資料：群馬県

03 ⑭ 群馬県の地域別被害額及び面積

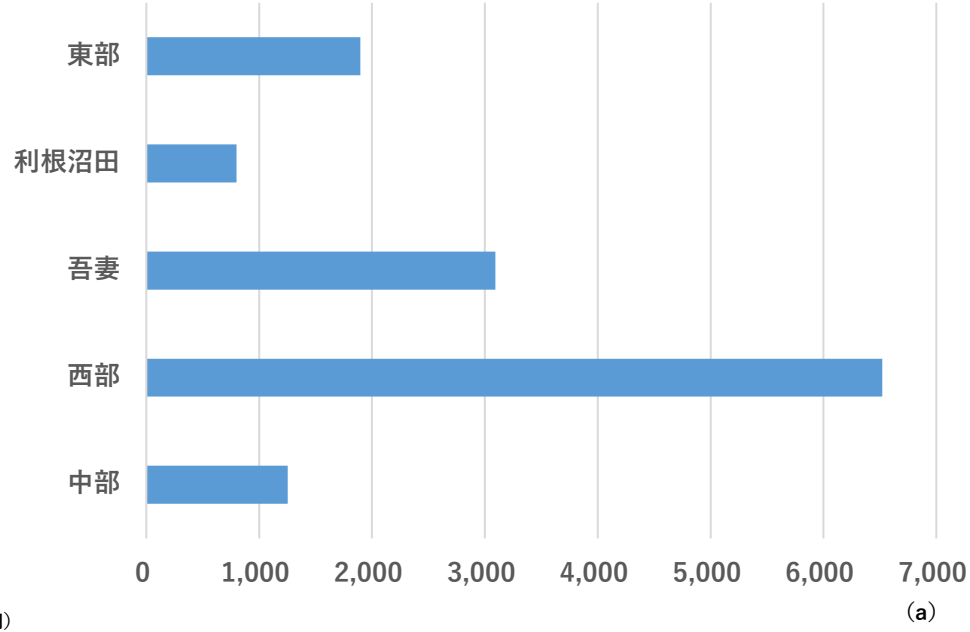
令和7年度の地域別の野生鳥獣による農作物被害額は、吾妻地区が159,321千円と最も多く、次いで西部地区が69,969千円となっている。
一方、地域別の被害面積は、西部地区が6,520aと最も大きく、次いで吾妻地区が3,094aとなっており、被害額と被害面積では、吾妻地区と西部地区の順位が逆転している。

農作物の地域別被害金額、被害面積

地域別の被害額



地域別の被害面積



資料：群馬県

03 ⑮ 群馬県の六次産業化の状況

国では「地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出等及び地域の農林水産物の利用促進に関する法律」いわゆる「六次産業化・地産地消法」が平成22年12月3日に制定。
群馬県内で認定されている事業計画は、46件。（令和8年3月26日現在）

令和２年以降の「六次産業化・地産地消法」に基づく事業計画の認定者

認定日	会社名	所在地	事業内容
令和2年3月31日	（株）原田農園	沼田市	自社生産果実を使用した果実酒（シードル、スパークリングワイン、ワイン）の開発・醸造・販売。
令和4年2月28日	グリンリーフ（株）	昭和村	自社生産野菜を活用したミールキット（カット野菜、肉・魚、タレなどから構成）の開発・製造・販売。
令和5年2月28日	合同会社あめつちのうた	嬬恋村	自社有機栽培のこんにゃく芋を用いた健康志向に応えるこんにゃく粉、生芋こんにゃく等の開発・製造・販売。
令和7年5月23日	株式会社ビオベジ	太田市	有機栽培野菜を加工したオーガニック野菜スープの製造販売業務。

資料：群馬県

03 ⑯ 群馬県のGI登録品

高山村で栽培されている「高山きゅうり」が、令和7年3月18日に群馬県内の農産物として初めてＧＩ登録されました！



高山きゅうりを使用した料理



冷や汁



麻婆仕立て・甘煮



◀ 特徴

- ■ 実がしっかりしている
- ■ 加熱調理など幅広い料理に利用
- ■ ジェラートとしても楽しまれている
  （高山村の一部カフェ）

問い合わせ先

関東農政局 群馬県拠点 地方参事官室

〒371-0025
群馬県前橋市紅雲町１丁目２番２号

TEL：027-221-1181（代表）